

第16回 ESD 大賞 募集要項

—Education For Sustainable Development Award—

世界の持続可能性への危機感が高まる中、社会全体で SDGs への取り組みが進められています。学校教育においても学習指導要領で「持続可能な社会の創り手」の育成が掲げられ、持続可能な社会の構築に向けて、問題意識をもって学び、判断し、行動できる人材の育成、即ち ESD (Education for Sustainable Development) への深い理解と価値ある実践が強く求められています。

NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラムでは、この ESD の理念に基づく取り組みを積極的に実践する学校を奨励する「ESD 大賞」を毎年実施しております。教科等横断的なカリキュラム編成の工夫や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学校全体での取り組み、地域の特性を活かし、人や関係機関とのつながりを大切にした実践、独自性のあるお取り組みなどを広く募集いたします。

また、ESD の主役は子どもたちであるという観点から応募校の中から個人の作文も募集いたします。

下記募集要項をよくお読みの上、奮ってご応募ください。

【主 催】 NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム

【後 援(予定)】 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、(公財) ユネスコ・アジア文化センター、
(公社) 日本ユネスコ協会連盟

【協力(予定)】 東京工科大学、日本工学院専門学校

【企画運営】 株式会社朝日エル

【審査委員(予定)】

見上 一幸 宮城教育大学名誉教授

佐野 金吾 学校法人東京家政学院 理事、東京家政学院中学校・高等学校
学校長、全国中学校地理教育研究会 名誉会長

手島 利夫 ESD,SDGs 推進研究室 室長

齋藤 英行 株式会社教育新聞社 顧問

岡山 慶子 株式会社朝日エル 会長

住田 昌治 学校法人湘南学園 学園長

市瀬 智紀 宮城教育大学 教育学部 教授

田村 哲夫 元日本ユネスコ国内委員会 会長、学校法人渋谷教育学園 理事長

東京工科大学、日本工学院専門学校の先生 他

学校の部

ESD の理念に基づいた実践研究事例の報告を募ります。

○実践研究の対象

幼稚園～高等学校における ESD の実践事例報告であること。

- ① ESD の全体計画や年間指導計画の作成、または改善及び評価に関わる実践研究。
- ② 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間に関わる ESD の実践研究。
- ③ 学校経営、学年経営、学級経営に関わる ESD の実践研究。
- ④ 学級活動、児童会・生徒会活動、クラブ・部活動、学校行事に関わる ESD の実践研究。
- ⑤ ESD における教材・教具の工夫や開発についての実践研究。
- ⑥ ESD における家庭、地域社会、行政、民間企業、関連する諸機関との連携に関する実践研究。
- ⑦ ユネスコスクールへの加盟申請中、キャンディデート校、もしくは興味がある。

○応募対象 全ての校種（幼稚園～高等学校）

○応募方法

- 1) 応募フォーマットに必要事項を記入してください。
- 2) 実践研究の内容やねらいがわかる資料（年間指導計画、学習指導案、教材、活動写真）を同封してください。ただし、A4判で5頁以内。

個人の部

第 16 回 ESD 大賞では、応募校の中から個人の作文も募集します。実践の成果を子どもたちの声から検証することをねらいとしています。最優秀賞には 3,000 円の図書カードをお贈りします。

○応募対象 小学生以上の ESD 大賞応募校の児童生徒（各学校 5 名まで）

○応募方法

- 1) 字数：800 字まで（フォーマット指定なし。各自原稿をご用意下さい。）
- 2) 内容：自校の実践を通して感じたことと、未来のために自分ができること。

【資料送付先・事務局】

上記資料を E-mail、郵送のいずれかでお送りください。応募資料は返却致しません。

NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム 「ESD 大賞」事務局
〒104-0061 東京都中央区銀座 5-14-5 光澤堂 GINZA ビル 7 階 朝日エル内
TEL：03-3545-3651 FAX：03-5565-4914 e-mail:info@jp-esd.org

【スケジュール(予定)】

令和 7 年 10 月 10 日 (金) 〆切 (事務局必着)

↓ 審査

令和 7 年 11 月中旬 受賞校決定

令和 7 年 12 月 6 日 (土) 第 16 回ユネスコスクール全国大会/ESD 研究大会 表彰式
(場所) 上智大学 四谷キャンパス

【実践集の作成(予定)】

受賞校には、実践研究事例の詳細を執筆していただき (B5 判で各校 3～5 頁)、冊子にまとめ、ESD の優れた教材として、ホームページで公開いたします。

【顕彰】

応募いただいた中から、審査委員の厳正な審査によって、優秀な事例を下記の通り顕彰いたします。

- ・ ESD 大賞 1 校
- ・ ユネスコスクール最優秀賞 1 校 (ユネスコスクールのみ対象)
- ・ ESD 優秀賞 3 校
- ・ ESD 精励賞 3 校
- ・ 審査員特別賞 1 校
- ・ 個人賞 5 名程度

【第 15 回 ESD 大賞受賞校とテーマ】

文部科学大臣賞	川崎市立平間小学校	多摩川・商店街・脱酸素の取組でサステナブルな平間小をめざせ！
ユネスコスクール最優秀賞	大田区立大森第六中学校	未来を創造する力の育成 – 正解のない問いに挑む–
ESD 優秀賞	北海道教育大学 附属釧路義務教育学校 前期課程	持続可能な地域社会を共創する義務教育 9 年間の地域探究カリキュラム
	学校法人上田学園 上田西高等学校	高校生の考える震災復興支援の在り方
	鹿児島県立市来農芸高等学校	持続可能な地域生産物を活用した探求学習
ESD 精励賞	学校法人国本学園 国本小学校	KUNIMOTO Re-Project 2023～不要な物から笑顔を生み出そう～
	学校法人聖学院	聖学院教育デザイン開発センター GX・SX ユニットの 3 年間の歩み ～3 校連携と SDGs 環境エコプロジェクトによる駒込キャンパス Net Zero 計画～
ESD 精励賞 東京工科大学賞	大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程	FRY TO FLY プロジェクト～廃食油とプラごみの有効活用～
東京工科大学賞	学校法人新渡戸文化学園 新渡戸文化中学校・高等学校	1) 探究する学びのプロセスで 主体性を発揮することで「社会に届く」、「社会を変える」 2) 生徒の「好き」を社会に届け、「誰かの困った」に目を向け、社会を変える原動力に。 3) 全学年がテーマごとの ラボ チーム に分かれて、社会課題解決に向けてアクション。